

佐野れいじ 区議会レポート

平成21年・第三回定例議会総括質疑報告

佐野れいじが
区政改革を訴える!

中野区議会の第三回定例会(9月16日～10月22日)で、私は9月29日、決算特別委員会のトップバッターに立ち、質疑を行いました。今回の私の質問は次の3点です。

- (1) 平成20年度中野区の財政について
- (2) 中野納税貯蓄組合について
- (3) 東京メトロ丸の内線中野新橋駅のバリアフリー化について

これらの質疑応答のあらましを皆様にお伝えします。



中野区議会議員
佐野れいじ

(1) 平成20年度中野区の財政について

このままでは 財政が硬直化するばかり!

中野区の義務的経費の割合56.1%は、東京23区で一番高く
最も低いのは港区の29.5%

「義務的経費」とは、一般家庭で言えば電気・ガス・水道料金、家賃、ローン等、支払わなければならないもので、区の場合、義務的経費は人件費・扶助費(生活保護費や各種福祉手当など)・公債費(特別区債の償還金)を指します。

過去5年間の義務的経費の推移をグラフにしてみました。

これを見ると、義務的経費は5年前に比べて46億円増えています。また、人件費は11億円減ったものの、扶助費は34億円増。差し引き23億円増となっています。平成20年度普通会計決算額964億円に占める義務的経費の割合は56.1%、東京23区で最も高い数字になっています。

義務的経費の割合が高ければ高いほど、教育・医療・道路などの社会資本にまわす予算が少なくなり、財政の硬直化の原因にもなります。

>>>…2ページに続く

